

石巻小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「郷土への思いをもち、郷土を愛し、よりよくしていこうと歩み続ける子」の育成をめざし取り組んだ。
- ・なぎの木学習（生活科・総合的な学習）および、特別活動（伝統的な行事：野外劇）を柱に、地域で学ぶ・地域を学ぶ・地域から学ぶ活動（郷土学習）を展開し、「国際理解」「歴史文化」「人権・平和・命」について、学びを深め心を育んだ。

・活動の実際

「歴史文化」「地域」（4年）

神の郷 石巻のルーツを探れ！

みんなから愛されている石巻山の魅力に迫るため、みんなで登山した。ダイダラボチ・天狗・大蛇などの伝説をたどり、切り立つ岩を登り切り、山頂から360度広がる景色を眺めた。はるか遠くに見える本宮山と眼下を流れる豊川に、「ダイダラボチ、どでかいじゃん」と声があがった。

石巻山の麓「神の郷」で暮らすことを誇りに感じることでできる学習となった。



「国際理解」「人権・平和・命」（6年）

Todos Amigos!!

～IAPで みんなアミーゴ～

本校の全校児童の約25%が、外国にルーツをもっている。ことばや文化の壁を越え、心からのアミーゴになれるように、IAP（石巻アミーゴプロジェクト）に取り組んだ。外国人（児童）が日本の社会（学校）で生活する（学ぶ）上での困難さや不安感を知った。また、外国の文化や習慣を知り、共に過ごす上で大切にすべきことは何かを考えた。



「歴史文化」「人権・平和・命」（全校児童）

野外劇『笛吹ジンゴ』

郷土に伝わる民話をもとに創作された野外劇三部作から、令和5年度は『笛吹ジンゴ』を上演した。隣村どうしのいがみ合いを題材とした本劇を演じる過程を通して、互いに譲り合い尊重し合うことの大切さについて考えた。

野外劇上演は、40年以上続く伝統行事である。地域のお年寄りや本校を卒業し自身も出演経験のある保護者をはじめ、毎年多くの方が楽しみにしてくださっている。

